

本研究科は、申請資格充足年度を経過していないため、点検・評価項目の記述にあたり項目によって途中経過的な記述内容のところがあることをあらかじめ申し上げておく。

〔到達目標 修士課程・博士課程の教育内容・方法等〕

本研究科における教育課程の基本方針として、第三者評価などの社会的要請に応えうる体制を保持した教育内容の水準の確保、「職業倫理」の育成、国際的感覚を備えた専門職業人の養成を柱として、本学における他の2つの専門職大学院、既存の大学院及び学部と本会計専門職大学院の教育とを有機的に結びつけることにより、より効果的な教育をめざしている。これにより、公認会計士、外国公認会計士等多くの会計プロフェッションを輩出し、本学の会計教育が社会の中で重要な地位を形成することを目標とする。

〔到達目標 学生の受け入れ〕

学生の受け入れについては、次のような基本方針をとっている。

- ・一般入試においては、本学独自の入学試験により、適切な志願者を求めるものとする。
- ・会計専門職をめざす社会人、また、すでに会計専門職の資格を有する者及びそれらに準ずる者でリカレント教育を志向する者に対応する入試を行う。
- ・本研究科の理念、教育方針に合致した適性と学力を有する者を対象に、自己推薦入試を行う。
また、他にリカレント教育あるいは生涯学習の観点から科目等履修生を受け入れている。
これらについて、現在実績を積み上げていく段階である。

〔到達目標 教員組織〕

現在、多様な会計プロフェッション養成のために約150に及ぶ数の科目を配置しているが、専任教員は各担当の専門分野に関し、高度の教育上の指導能力がある研究者教員及び実務家教員を揃え、理論と実務の融合を図っている。会計プロフェッションの養成という目標を見据えて、教育課程における理論と実務が適度に融合し、かつ教育と研究がバランスよく行える教員の配置、教員組織の運営を目標としている。

〔到達目標 研究活動と研究環境〕

現在、教員及び学生を会員とした学会「会計プロフェッション研究学会」を設立し、会計学及びその関連分野の研究とその成果の発表を推進している。現在、全教員が旺盛な研究活動を行っており、多くの研究成果を論文等で学内外の学術雑誌等に発表している。この学会は設立されたばかりで、研究活動はまだ緒についたばかりだが、次第に軌道に乗りつつある。今後は、個人の研究活動だけでなくプロジェクトによる研究を、さらに研究科内に留まらず、産業界との連携、他大学の専門職大学院との共同研究の実施や研究会の開催等交流の活発化を進めたい。

2006年3月に機関誌『会計プロフェッション』第1号を発刊したが、投稿者数を増やすとともに一層の質的向上を図りたい。